



「ジブンデ ジブンデ」



今まで、すっかり大人に頼りきりだった赤ちゃんが自分で歩けるようになると、自分で世界を広げ始めるうれしさを味わいます。この頃から自我が芽生え、大人の手助けを拒否して、何でも「ジブンデ、ジブンデ」とやりたがり、**自立の心が**生れ始めます。

洋服の脱ぎ着も、靴をはくのも、お風呂で体を洗うのも、ジブンデ。今まで大人からしてもらったように、自分でもできると思っているのですが、本当はまだまだなのに。やりたい意欲と実際がかみ合わなくて、時々パニックになることがあります。また大人の方も特に忙しい時には、子どもの「ジブンデ」を受け入れてあげる余裕もなくなる 경우가多くあります。

でも、この時期の「ジブンデ」の経験を満足させてあげることは、将来にわたって意欲のある子を育てるカギとなるとも言われているのです。

少々下手な出来ばえでも「上手にできたね」とほめてあげたり、自分でやろうとする意欲を「すごいね」と認めてあげながら、少しだけお手伝いしてやるのがこの時期の子どもと付き合うコツかもしれません。

